

研究協力をお願い

昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

COVID-19 感染症が整形外科専門診に与えた影響
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>2019年1月から2020年7月の間に、昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院整形外科の専門診（股関節診、膝関節診、手外科診、脊椎外科センター、リウマチ診、骨粗鬆症診、スポーツ診）を受診された患者さん</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>2020年1月から流行したCOVID-19（コロナ）感染症により大都市を中心に全国で医療の縮小が引き起こされ、現在も継続しています。当院ではコロナ陽性患者の受け入れを行ったため、入院および外来診療の制限が行われました。その中で、骨粗鬆症専門外来（週1回）における受診率がどのくらい影響を受けたのか、という疑問に対して他の専門診と2019年の骨粗鬆症外来のデータを対照群として調査を行いたいと考えています。</p> <p>対象</p> <p>昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院整形外科の専門診（股関節診、膝関節診、手外科診、脊椎外科センター、リウマチ診、骨粗鬆症診、スポーツ診）を受診予定または受診した患者さんを対象とします。</p> <p>調査期間</p> <p>2019年1月から7月末までを調査期間とし、各専門診の受診予約の有無および受診者数を調査します。受診した場合は、本人が受診、家族が代理受診、電話再診のいずれであったかを調査する。対照群として、2019年の同期間の患者数、および2020年の同期間の他の専門診の受診状況を対照群にします。受診者数、受診状況（本人が受診、家族が代理受診、電話再診のいずれか）、未受診者（キャンセル）数を主たる調査項目とし、年齢、在住地域、骨粗鬆症治療薬を従たる調査項目とします。外来受診率および未受診率、電話再診率を求め、第1回目の緊急事態宣言期間による影響、骨粗鬆症治療薬の内容による違い、年齢などの影響を検討したいと考えています。統計ソフトはStat Flex 7.0を使用し、</p>

統計解析は Mann-Whitney U 検定を用いて両側 $P < 0.05$ を有意差ありとします。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究に関する倫理委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから 2022 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2019 年 1 月 1 日から 2020 年 7 月 31 日までに昭和大学病院整形外科および昭和大学病院附属東病院整形外科において専門診受診予定をしていた患者診療録の中から予約の有無、受診者数、受診状況（本人が受診、家族が代理受診、電話再診のいずれか）、未受診者（キャンセル）数を主たる調査項目とし、年齢、在住地域、骨粗鬆症治療薬を従たる調査項目とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院附属東病院整形外科 氏名：永井隆士

住所：142-0054 東京都品川区西中延 2-14-19 電話番号：03-3784-8000(代表)

研究責任者：永井隆士